

平成30年度 事業計画

公益財団法人滋賀県希望が丘文化公園は、平成29年4月に希望が丘文化公園を管理する単独法人としてスタートし、健全な法人運営と安全で快適な施設運営に努めている。

平成30年度は、第3期指定管理の最終年で、第4期指定管理の申請という当財団にとって重要な一年であり、県民に魅力を感じていただける新たな希望が丘を提案・提供できるよう挑戦していかねばならない。

県において、平成27年12月に「希望が丘文化公園将来ビジョン」が策定され、さらに平成30年3月に「希望が丘文化公園基本計画」が策定される予定であるが、これの具体化を図るため、公園においても「希望が丘100年プロジェクト」のもと、100年先にも誇れる公園づくりを目指して、これまでに培った確かな経験をもとに、県民に潤いや安らぎを与える豊かな空間を提供するとともに、青少年の健全育成やスポーツの振興などに貢献できるよう夢と誇りを持って邁進していく。

特に、あらゆる年代の方々が気軽に参加できる事業を展開し、利用者の拡大を図るとともに、“きぼっこ”を合い言葉とした子どもの体験活動機会の充実、四季を通じた10大祭りによる交流・交歓機会の拡充、びわ湖カップと銘打った全国大会の5大イベントを開催し、また、クロスカントリーコースをはじめとした自然豊かなフィールドを活用した県民の体力増進や健康づくりをはじめ、アスリートの競技力向上など、個性豊かで活力ある滋賀の実現に取り組む。

〔希望が丘文化公園の運営〕

1 基本方針

(1) 自然と人との共生

希少植生の保護や荒廃が進む森林の保全に的確に対応するなど、豊かな自然を保護、活用し、多くの来園者が自然の恵みを楽しむことによって、逞しい人間力と豊かな人間文化力を育む公園として、100年後も栄える滋賀のもりづくりに貢献する。

(2) 教育的機能の発揮

スポーツ、宿泊、野外活動、その他の施設を活用して、あらゆる年代の人々の共同宿泊活動や野外活動、スポーツ活動を促進し、これらの活動から得られる社会性や創造性など望ましい人間性を高めることにより、世代に応じた人間力と人間文化力の向上を図る公園として、100年後も栄える滋賀のひとづくりに貢献する。

(3) ふれあい公園の創出

来園者の誰もが憩い、楽しみ、交流・交歓できる景観の創出や行事の実施など、“ふれあいの場”を提供することによって、家族が、友達が、知る人も知らない人もともに声をかけ、あいさつを交わし、笑顔が溢れる豊かな人間性を育てる公園として、100年後も栄える滋賀の活力づくりに貢献する。

(4) 納得公園の演出

公園設置46年の歴史を活かし、来園者はもとより公園設置者、公園管理者の誰もが自信と誇りの持てる納得の管理運営を確保し、大切な県民の財産として100年後も誇れる管理運営を行う。

(5) 眼差し公園による管理運営

公園設置46年の継続した管理運営の実績を活かして、常にお客様の立場に立った安全性や利便性を追求し、お客様の全てを優しく見守る公園として、100年後も任せられる管理運営を行う。

2 経営目標

(1) 管理運営目標

ア 自主財源率の目標

自主財源率：

平成28年度実績 26.9% → 平成29年度見込 26.8% → 平成30年度目標 25.5%

<実現策>

- (ア) 3月から11月末までの月曜日（祝日の場合はその翌日）は、すべて開園する。なお、12月から2月末までの月曜日は休園日とするが、利用の申し出があれば積極的に受け入れて部分開園の措置を講じる。
- (イ) 4月から9月末までの期間は営業時間を1時間延長し、午後6時までとする。なお、スポーツ施設は利用者の要望に応じ、午前7時からの利用にも対応する。さらに、照明設備を備えた屋内テニスコートおよび体育室は、最終午後9時まで利用時間の延長を行い、新規利用者層の開拓を図る。
- (ウ) 安心・安全を第一に考え、「効率的かつ効果的な業務は外部に委ねる」ことを基本として、利用者サービスの向上とコスト削減を図る。併せて、職員の技術・経験を活かした直営修繕によって即応性を高め、経費削減を徹底的に行う。
- (エ) 「エコアクション2.1」による持続的な環境負荷低減活動を推進し、省資源化および省エネルギー化により、経費の縮減を図るとともに、自然や環境に配慮した事業やサービスの提供に努める。
- (オ) 「希望が丘みらい基金」をはじめ、助成金・協賛金、広告料等の獲得により、教育・環境・自然および野外活動事業等の一連の取り組みが拡充できるよう、各種団体、企業、さらには事業参加者などへの協力・支援を積極的に働きかける。

イ 施設の来園者数の目標

来園者数：

平成28年度実績 890,536人 → 平成29年度見込 904,000人 → 平成30年度目標 930,000人

<実現策>

- (ア) 公園の玄関口となる東西ゲートのインフォメーションは、公園に精通したスタッフが窓口となり、来園者の目的に合った案内や相談に応じる。また、四季折々の美しい自然の見所の紹介など、新鮮な情報提供を随時行う。
- (イ) 駐車料金の回数券（5千円：普通車500円券1冊13枚綴り）を販売する。またミニ回数券（2千円：普通車500円券1冊5枚綴り）の販売により、リピーターの確保に努める。
- (ウ) 憩う、遊ぶ、食べる、観る、触れる、学ぶなどをテーマにした、子どもから高齢者まで世代をつなぐ「10大祭り」の開催により、年間を通じて公園の賑わいを創出する。
また、全国規模の「5大イベント」では、県内外をはじめ全国からの観覧・観戦の集客に努め滋賀を発信するとともに、冬期にも駅伝大会やマラソン大会、スポーツ合宿などの誘致に努める。
- (エ) 四季折々の素晴らしい自然や公園施設の魅力を身近に感じていただけるよう、ホームページ等の広報媒体を通じた公園紹介のほか、ハイキング、自然観察会、紅葉祭など事業開催に伴う施設案内を積極的に導入する。
- (オ) 地元2市1町（野洲市・湖南市・竜王町）の総合調整協議会、観光協会等との連携による特産品販売等の催事開催や、公園の宿泊体験施設と近隣施設（農業体験等）を組み合わせたプログラム開発により、新たな来園者の開拓に努める。

ウ 施設の利用者数の目標

施設利用者数：

平成28年度実績 230,124人 → 平成29年度見込 240,000人 → 平成30年度目標 250,000人

<実現策>

- (ア) 12月から2月末までの月曜日を休園日とするが、休園日前日の宿泊を希望される場合には、翌朝の退園まで柔軟な対応を行う。
- (イ) 4月から9月末までの期間は全園の営業時間を1時間延長し、午後6時までとする。
スポーツ施設については要望があれば午前7時からの早朝利用、さらに照明設備のある体育室、屋内テニスコートについては、最終午後9時まで夜間利用の延長にも対応する。
- (ウ) 青年の城および野外活動施設の受付を一元化し、利用者サービスの向上と情報集約化を図る。また、各種団体の利用目的に合った丁寧な活動プログラムの紹介を行い、園内施設の併用利用など利活用の幅を拡大する取り組みを行う。
- (エ) 新規利用者の開拓やリピーターの確保のため、利用状況や社会情勢の分析を随時行い、効率・効果的な広報を行うとともに顧客満足度の一層の向上に努める。
- (オ) 園内通行やキャンプ場への車両の乗り入れ制限の緩和等により利便性の向上を図る。
また、多角的な視点から施設のバリアフリー化を推進し、障がい者にも利用しやすい施設運営を行う。
なお、駐車料金は広大な希望が丘の芝生や樹木の保全管理に役立てられていることを説明し理解を得る。

エ 事業参加者数の目標

事業参加者数：

平成28年度実績 98,455人 → 平成29年度見込 105,000人 → 平成30年度目標 110,000人

<実現策>

- (ア) 受益者負担を原則とするが、できるだけ手頃な参加料金で県民ニーズの高い事業を企画するとともに、安全面や指導体制を万全に確保したうえで、複数開催や定員拡大により需要に応える。
- (イ) 親子、家族のふれあいを促す企画や三世代の交流をはじめ、子どもから高齢者まであらゆる年代が参加できる機会を充実させる。
- (ウ) 5大イベントでは、大会の魅力および自然豊かな公園を全国発信し集客に努める。
- (エ) 公園のホームページやブログ等のIT情報、公共団体や民間等のメディアを活用して情報を迅速かつ広範囲に発信する。
- (オ) 近隣自治会でのチラシ等の回覧や関係団体とのネットワークを活かし、事業趣旨に合致した団体と連携した広報に努める。

オ 施設利用者および事業参加者の満足度の目標

満足度：

平成28年度実績 93.3% → 平成29年度見込 90.0% → 平成30年度目標 90.0%

<実現策>

- (ア) 提供するサービスの品質を「当たり前」から「魅力的」に変えて、顧客の期待にしっかりと応えていくため、マニュアルの徹底と職員のスキル、マインドの向上を図る。
- (イ) 施設利用者の意見、要望を把握するため、「ご利用者の声」箱を設置する。また、来園者および施設利用者へのアンケート実施をはじめ、顧客満足度調査や対話による意見収集などを集計・分析して、公園管理運営に活用する。
- (ウ) ニーズ把握のあり方や管理運営への反映の取り組みについては、年度ごとに総合評価表を作成し、総合的に検証・点検を行い、運営推進協議会および利用者懇話会のメンバーに外部評価をしてもらう。
- (エ) 来園者からいただいたすべての苦情や要望等を「苦情ノート」に項目別にまとめ、同じミスの繰り返しを防ぐため、全職員で共通理解する。
- (オ) トラブルの未然防止の環境整備に努め、苦情やトラブルの対処は、納得いただけるまで

丁寧に対応し、改善すべきは速やかに対処する。

(2) 施設管理運営上の目標（ポイント）

- ア 県出資の公益法人として、すべての法令を遵守した法人運営と施設管理を行う。また、県の条例・規則等に準じた内部規定を設け、公正で開かれた業務運営を行う。
- イ 県立の総合文化公園として、障がい者・高齢者、青少年、妊婦・幼児等を含め、県民の誰もが利用しやすい環境整備への各種取り組みを行う。
- ウ 憩い、癒し、安らげるフィールドや豊かな景観を創出する安全、快適な空間づくりのため、園内施設等の「見える化」、四季折々の公園の「魅せる化」に配慮した森林整備の取り組みにより、県民福祉の向上と健康の保持増進に貢献する。
- エ 利用者ニーズを把握するため、「ご利用者の声」箱の設置、利用者や参加者へのアンケートに加え、対話を通して来園者の生の声を取り入れる。また、意見・要望やアンケート結果は、業務改善や公園管理に速やかに活かしつつ、PDCAサイクルによるサービス水準の確保に努める。
- オ 「エコアクション21」認証取得による行動指針に基づき、環境負荷低減やCO₂・ゴミ搬出量削減、環境教育等に努め、快適な公園づくりに取り組む。また、廃棄物「ゼロ」を目的とした、ゼロエミッションの考え方を森林整備に導入し、廃材や間伐材の活用に努める。
- カ 日常・定期的な安全点検に加え、利用シーズン前、豪雨、台風、降雪後等においては、より一層慎重な点検を実施する。また、利用者の安全確保・事故防止に万全を期すため、事故の未然防止に必要な工事や器具の備えなどを県に報告するとともに、職員の危機管理能力を向上させる。

(3) 事業実施上の目標（ポイント）

- ア 次代を担う子どもたちに、自然体験・社会体験・生活体験の機会や場を提供することで、健やかな成長を目指す。特に、希望が丘における宿泊体験・自然学習をはじめとした取り組みを「きぼっこ」として、幼児から青少年の社会性や創造性、生きる力を育む事業を展開する。
- イ 子どもから高齢者までの世代をつなぐ、「10大祭り」の開催により、年間を通じて賑わいを創出する。また、あらゆる世代の人たちがスポーツを楽しみ、健康増進を図り、生きがいを生み出す事業を展開する。
- ウ 全国から滋賀へ参加者が集うスポーツ大会（5大イベント）の開催により、希望が丘や滋賀の魅力を発信する。
- エ 野外活動センター（キャンプ場）では、野外活動・キャンプ活動で心身を鍛え逞しく生きる力を養う事業や、仲間と自然に触れ合いながら創造性を豊かにする事業を展開する。
- オ 青少年宿泊研修所（青年の城）では社会性を養う機会や共同作業や体験学習を通じて、豊かな人間性や感性を育てる事業を展開する。
- カ 公園サポーターやキャンプリーダー等の人材育成と事業参画の機会を拡充する。

3 事業内容

別紙のとおり

■ 平成30年度 事業内容

※ “きぼっこ体験事業”とは、希望が丘文化公園において次代を担う青少年の自然体験活動を推進する取り組みをいう。

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
1	① 宿泊体験・自然学習事業	“きぼっこ体験事業” 希望が丘里山楽校	新緑の季節に、異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。	5月 年間1回	参加費 6,000円以下
2		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み自然塾	小学3年生から小学6年生の児童たちが、専門家の指導のもとで植物や生きものの調査研究を行い、自然や環境への理解を深める場を提供する。	7月 年間1回	参加費 25,000円以下
3		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休み林間スクール	子どもたちが生活体験や自然体験活動等を通して、自主性・協調性・社会性を身に付けることを目的とする。	8月 年間1回	参加費 6,000円以下
4		“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の里山楽校	冬の希望が丘で、異年齢の子どもたちが共同生活・体験を通して自主性・協調性を身に付けるとともに、自然とのふれあいや里山体験により、環境や生態系への気づきを得る場を提供する。	12月 年間1回	参加費 6,000円以下
5		“きぼっこ体験事業” 希望が丘冬の林間スクール	冬の希望が丘で、子どもたちが生活体験や自然体験活動等を通して、自主性・協調性・社会性を身に付けることを目的とする。	1月 年間1回	参加費 6,000円以下
6		“きぼっこ体験事業” ちびっこファミリー自然とあそぼう	家庭や地域において子どもが人や自然と直接ふれあう経験が少なくなっている今日、自然や生きもの等への関心が増える年齢期の子どもとその家族を対象に自然やうつくしいものに感動する心や子ども同士の交流を通して思いやりの心を育む機会を提供する。	5月・6月・9月 10月・11月 年間5回	参加費 200円以下
7	希望が丘100年プロジェクトの推進 ② 野外体験・キャンプ事業	希望が丘ふれあいキャンプ～病気の子どもたち・障がいのある子どもたちとともに～(共催事業)	滋賀病気の子どもたちの支援ネットワーク等と協働し、障がいや病気を持つ子どもたちとその家族が楽しくキャンプを行えるように支援し、自然や野外活動への興味・関心を高め、家族の絆を深めることができる場を提供する。	4月、9月 年間2回	参加費 共催団体(滋賀病気の子どもたち支援ネットワーク)が徴収
8		希望が丘キャンプリーダー養成講習会	新規活動希望者に対して養成講習会を実施し、修了した者は登録して、キャンプリーダーとしての活動に参加することが可能となる。	通年	参加費 1,500円以下
9		希望が丘キャンプリーダー研修会	キャンプリーダーに登録している学生を対象に、自然体験や野外活動に関する知識・技術の研修を行い、スキルアップを図ることにより、公園運営の一翼を担う人材を育成する。	通年	参加費 1,500円以下
10		“きぼっこ体験事業” 希望が丘アウトドアキッズキャンプ	小学生の学年層に応じたキャンププログラムにより、子どもたちの自然や野外活動への興味・関心を高め、自主性・協調性を身に付けることを目的とする。	6月 年間1回	参加費 8,000円以下
11		“きぼっこ体験事業” 希望が丘夏休みわんぱくキャンプ	異年齢の子どもたちが、6泊7日の長期キャンプを通して自主性・協調性を身に付けるとともに、克服体験や達成感によってたくましく成長することを目的とする。	8月 年間1回	参加費 25,000円以下
12		“きぼっこ体験事業” 希望が丘ちびっこキャンプ	初めてキャンプをする小学校低学年(1年生～3年生)の児童を対象に、野外活動や共同生活を通して、自主性や協調性を身に付ける。	10月 年間1回	参加費 8,000円以下
13		キャンプ活動の力 (共催事業)	滋賀県キャンプ協会と協働し、キャンプ活動を通してライフスタイルを見つめ直し、コミュニケーションの大切さや生きる力に必要なスキルを学ぶ場を提供する。	10月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収
14		“きぼっこ体験事業” 希望が丘秋のプチキャンプ	家族を対象に秋を感じる日帰りのプログラムを提供し、自然探究や野外活動への興味・関心を高め、デイキャンプの魅力を提供する。	11月 年間1回	参加費 1,200円以下
15		キャンプインストラクター養成講習会 (共催事業)	滋賀県キャンプ協会と協働し、日本キャンプ協会公認のインストラクター資格取得のための講習会を行い、キャンプ指導者の育成を図る。	11月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県キャンプ協会)が徴収
16		“きぼっこ体験事業” 希望が丘わいわいクリスマスクッキング	自然の中でのクリスマスプログラムを提供し、子どもの体験活動を指導するとともに、自然や野外活動への興味・関心を高め、家族の絆を深める場を提供する。	12月 年間1回	参加費 1,500円以下
17	“きぼっこ体験事業” 希望が丘春のプチキャンプ	親子で体験するデイキャンプを通して自然探究や野外活動への興味・関心を高め、創造力を豊かにする機会を提供する。	3月 年間1回	参加費 1,200円以下	

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
18	③ スポーツ・健康事業 希望が丘100年プロジェクトの推進	第31回滋賀県グラウンド・ゴルフ春季大会(共催事業)	広大な芝生ランドを活かし、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と協働して、生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。	5月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収
19		全国仲間と深めよう 競いあおう 第9回びわ湖カップ少年サッカー大会U-11	広大な芝生ランドを活かし、全国から選りすぐられた少年サッカーチームによる大会を開催し、スポーツを楽しみ、仲間と交流を深める場を提供する。	8月 年間1回	参加費 15,000円以下
20		希望が丘ディスクゴルフ大会2018	滋賀県フライングディスクゴルフ協会と協働し、広大な敷地と常設コースを活用して、広域から参加者を募る大会を開催する。	9月 年間1回	参加費 2,000円以下
21		第31回滋賀県グラウンド・ゴルフ秋季大会(共催事業)	常設コースを活かし、滋賀県グラウンド・ゴルフ協会と協働して、生涯スポーツの振興、健康づくり、仲間づくりの場を提供する。	10月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県グラウンド・ゴルフ協会)が徴収
22		第20回びわ湖カップ 健康グラウンド・ゴルフ大会	全国のグラウンド・ゴルフ愛好者を対象にした大会を開催し、生涯スポーツの振興と相互の交流を深める場を提供する。	10月 年間1回	参加費 2,000円以下
23		滋賀県高等学校駅伝競走大会(男女)(共催事業)	滋賀県高等学校体育連盟に加盟する学校の生徒が、近畿大会・全国大会の出場を目指して競い合う全県規模の大会。青少年の体力増強と健全育成を目的とする。	11月 年間1回	参加費 無料
24		びわ湖男女駅伝フェスティバル2018	広かつ安全な園内環境を活かし、全国の市民ランナーやジョギング愛好者にも門戸を開いて、駅伝を楽しみ、健康の保持増進や交流を深める場を提供する。	11月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県体育協会)が徴収
25		希望が丘家族ふれあいランニングスクール2019	広かつ安全な園内環境を活かして希望が丘スポーツゾーンに特設コースを設定して開催し、ランニングの基本を学ぶとともに、家族でスポーツを楽しむ場を提供する。	1月 年間1回	参加費 1,000円以下
26		第30回全日本びわ湖クロスカントリー大会	広かつ安全な園内環境を活かし、全国から集った選手による大会を開催し、中・長距離選手の強化・育成・発掘を行うとともに、相互の交流を深める場を提供する。 愛称:BIWAKOクロカン2019	2月 年間1回	参加費 共催団体(京都新聞滋賀本社)が徴収
27		全国仲間と深めよう 競いあおう 第8回びわ湖カップなでしこサッカー大会U-12	広大な芝生ランドを活かし、全国から選りすぐられた少女サッカーチームによる大会を開催し、スポーツを楽しみ、仲間と交流を深める場を提供する。	2月 年間1回	参加費 15,000円以下
28		滋賀県スポーツ少年団ラグビーフットボール大会(共催事業)	滋賀県内のラグビーの普及・競技力向上とラグビーを通じて小学生年代の心身の健全な育成に寄与する。	3月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県ラグビー協会)が徴収
29		④ ふれあい・交流・交歓事業	希望が丘キッズフェスティバル	地元で活動する人々との連携によりにぎわいを創出し、文化ゾーンのPRを図るとともに認知度を高める。	4月 年間1回
30	希望が丘新緑祭		新緑の時に、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなる各種アトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	5月 年間1回	参加費 500円以下
31	希望が丘ジュニアサッカーフェスタU-10 2018		大会への参加機会が少ない小学校4年生以下のチームを対象に、スポーツを楽しみ、仲間との交流を深めることができる場を提供する。	6月 年間1回	参加費 3,000円以下
32	希望が丘ファミリーキャンプフェスタ		自然の中での野外活動を通して、日常では味わいにくい体験や感動を家族や仲間とわかちあえる場を提供する。	7月 年間1回	参加費 3,500円以下

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
33	④ ふれあい・交流・交歓事業 希望が丘100年プロジェクトの推進	希望が丘スポーツフェスティバル	様々な団体と連携し、スポーツを楽しむ場を提供する一方、各種団体間の交流・連携を深める機会とする。	10月 年間1回	参加費 500円以下
34		希望が丘ふれあい祭	さわやかな秋の季節に、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなる各種アトラクションを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	11月 年間1回	参加費 500円以下
35		希望が丘紅葉祭	紅葉の時期に、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	11月 1ヶ月間	参加費 500円以下
36		希望が丘ファミリーフェスタ	様々な世代の人々が希望が丘の自然の中で活動し、交流することによって、互いの理解を深める場を提供する。	11月 年間1回	参加費 4,500円以下
37		希望が丘新春まつり	広大な芝生ランドを活かし、寒くても屋外で家族や仲間と物作りや伝承遊びを楽しむ場を提供する。	1月 年間1回	参加費 500円以下
38		希望が丘スプリングフェスティバル	早春の時期に、希望が丘文化公園を訪れるきっかけとなるイベントを実施してにぎわいを創出し、当公園のPRを図るとともに認知度を高める。	3月 年間1回	参加費 500円以下
39		希望が丘のびのびペインティング	地面にチョークで大きな絵や文字を描き楽しむ。描いた後は水とデッキブラシで消すところまで行い、子どもたちの創造性と責任感を養う。	4月、5月、10月、11月、3月 年間10回	体験料 100円以下
40		希望が丘交流ひろば	希望が丘文化公園の広大な敷地を活用し、家庭の不用品やてづくり品を対象としたフリーマーケットを開催して「エコ」気運と高い開催ニーズに応えるとともに、食事コーナーを開設するなどしてにぎわいと憩いの場を創出する。	5月、10月、11月、3月 年間8回	参加費 7,500円以下
41		⑤ 里山ツリーズム事業	希望が丘ハイキング	自然環境に恵まれた希望が丘文化公園とその周辺地域を活用し、自然の中に身を置くことによる心身の健康増進の場を提供する。	4月、6月、9月、2月 年間4回
42	希望が丘自然観察会		季節に応じたテーマを設定し、希望が丘文化公園内を散策しながら自然観察を行い、自然や生態系への興味・関心を高める場を提供する。	4月、7月、10月、3月 年間4回	参加費 300円以下
43	クラフト&フィールドゲーム		希望が丘文化公園内各ゾーンにおいて、来園者・利用者のニーズに応じて体験プログラムを提供する。	通年	体験料 700円以下
44	⑥ 連携協働事業	平成30年度 第51回滋賀県スポーツ少年大会(共催事業)	滋賀県体育協会等と連携し、滋賀県下のスポーツ少年団員を対象に、スポーツ・文化学習・交流交歓等の活動や集団生活を通して心と身体を育て、団活動の活性化を図る。	8月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県体育協会)が徴収
45		平成30年度滋賀県スポーツ少年団ジュニア・リーダーズスクール(共催事業)	滋賀県体育協会等と連携し、地域のスポーツ少年団活動でリーダー的な役割を担える人材の育成と将来へ向けた指導者育成を図る。	11月 年間1回	参加費 共催団体(滋賀県体育協会)が徴収
46		希望が丘アウトドアスクール	県内の中学校・高等学校・大学・専門学校等と連携し、勤労体験やインターシップを受け入れるとともに、学校や各種団体への体験活動の指導を実践する。	通年	参加費 10,000円以下
47		希望が丘パークフレンド	広く登録者を募り、公園情報のメール配信や、登録者限定イベントを実施し、希望が丘文化公園のPRと来園者増加を図る。 登録者目標:1,000人	通年	参加費 無料
48		公園サポーター事業	ボランティア活動に意欲のある人材を募集し、参画と協働を促進するとともに公園の活性化を図る。 登録者目標:100人	通年 活動随時	参加費 無料
49		公園総合PR事業	各種メディアによる公園情報の発信とともに、映画のロケ地としての誘致や各種イベントに出展するなどの方法により、公園の認知度と親和度を高める。 あわせて、次代を担う青少年の自然体験活動を推進する「きぼっこ体験事業」をメニュー化し、県内全小・中学校および教育委員会への広報、PRに努める。	通年	参加費 無料

番号	区分	事業名	事業内容	開催予定日	入場料金等 ※青少年(25歳以下)
50	自主事業	フィールドアスレチック事業	俣藤太百足退治をモチーフに設置されたロープと丸太との遊具で遊びながら体力と健康づくりをする。36ポイントの他にお城ジャングル(9ポイント)、幼児コース(11ポイント)を開設。幼児から大人までの幅広い人々に、自然の中での体力の向上や家族サービス、校外学習の場としての役割を担う。	平成30年4月～31年3月(通年)	
51		グラウンド・ゴルフ事業	グラウンド・ゴルフ場は3コース24ホールで運営。自然豊かな公園の特性を生かし、子どもから高齢者まで誰でも楽しめる生涯スポーツの活性化の一翼を担うとともに、県民の健康増進を図るため実施する。	平成30年4月～31年3月(通年)	
52		希望が丘カップ2018 グラウンド・ゴルフ月例大会 ①月例大会 ②グラウンドチャンピオン大会	各8ホール3コースでボールをホールポストに入れ、スコアを競う。 ①(月例大会):各回200名 ②(グラウンドチャンピオン大会):月例大会に7回以上出場し、ランキングポイント上位120名が年1回競う。	①4月～3月第3水曜(8.1.2月除く) (月1回・年9回) ②3月20日(水)	

	後援事業	第26回全国中学校駅伝大会	中学校教育の一環としてわが国特有の駅伝文化を継承する機会を広く与え、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかる。	12月 年間1回	参加費 後援団体(日本陸上競技連盟)が徴収
--	------	---------------	---	-------------	--------------------------